

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.118

発行所：日本消化器がん検診学会
 関東甲信越支部
 〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-9-2
 東京都立がん検診センター
 消化器内科
 TEL / 042-321-0711
 E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp



目次

支部長のつぶやき.....	2
第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	
第81回関東甲信越支部地方会を終えて	3
第13回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告	5
第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	
会告	8
超音波セミナーご案内.....	9
超音波スクリーニング研修講演会2022東京ご案内	10
編集後記 山口和也	12

支部長のつぶやき ～今後の研修委員会を考えてみた～



東京都立がん検診センター

消化器科 小田 丈二

現在、関東甲信越支部には放射線研修委員会、超音波研修委員会、保健衛生研修委員会、内視鏡研修委員会の4つがあります。

超音波研修委員会は医師、技師の相互協力の下、セミナーやライブデモを開催し、若手の育成のみでなくレベルアップ向上を目的として活動されています。

保健衛生研修委員会は、胃X線安全基準作成にご尽力いただきました。そして今後は地域の保健師さんとの繋がりを広めにいく予定です。また、内視鏡検診に関する安全基準はないのか？というご意見も多数あるようですが、X線検診と異なり、医師が検査を行っているという性質上、基準作りのハードルは高いようにも思われます。

放射線研修委員会ですが、これまでは主に胃X線検診に関する話題でしたが、最近ではCTCに関するセッションであったり、大腸に関する話題にも触れるようになってきています。

内視鏡研修委員会は、対策型胃内視鏡検診を中心に、各地域の医師を中心に構成されています。実質的な活動としては対策型胃内視鏡検診のシンポや症例検討などの講習会を行ってきましたが、大腸内視鏡検査に関しても議論していく必要があると感じております。

当分、放射線研修委員会、内視鏡研修委員会とも、そのまま残して活動を続けますが、地方会では胃がん検診を論じる放射線研修委員会と内視鏡研修委員会のコラボや、大腸がん検診を議論する放射線研修委員会、内視鏡研修委員会のコラボ、さらには保健衛生研修委員会も含めた総合討論など、多職種連携、チーム医療を目指したミーティングが可能となれば嬉しいな、などとつぶやいてみました。皆様方のご協力のほど、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

第81回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会

「第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会」を終えて

早期胃癌検診協会 中島寛隆

第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会（以下81回地方会）は、「消化器がん検診の再出発」をテーマに（図1）、2022年9月4日（日）にWEB形式で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大により現地開催を見合わせる一方で、ライブセミナーや主題演者の方々へ「配信会場（第1会場）」での登壇を用意し、対面での議論が可能となるよう工夫しました。その一方で、教育講演、一般演題、スポンサードセミナーと腹部超音波のザ・ベスト・イメージングコンテストを「WEB登壇（第2会場）」から配信し、視聴の皆様へは2チャンネルで81回地方会へ参加できる形式としました（図2）。

図1 第81回地方会ポスター

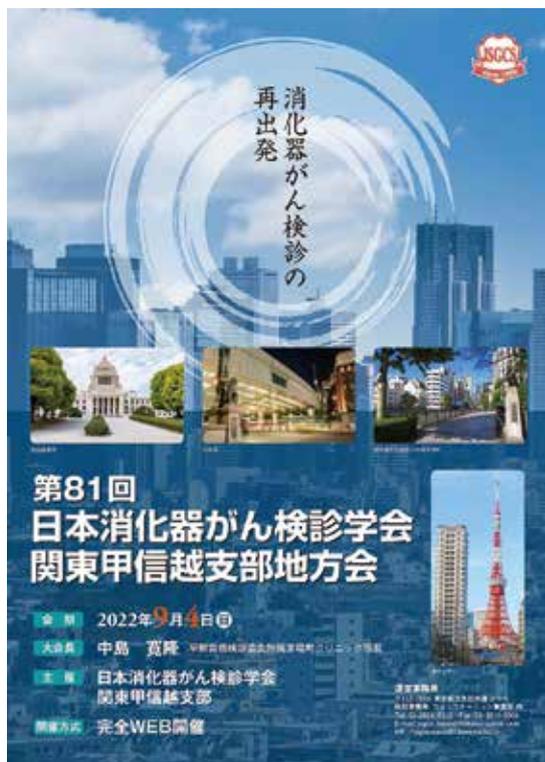


図2 第81回地方会日程表

【9月4日（日）】		
名称	第1会場（配信会場より登壇）	第2会場（各ご施設よりWEB登壇）
8:50	開会式	
9:00	9:00～10:30(90分) 医師研修会	9:00～9:45(45分) 医師研修会
9:10	超音波ライブセミナー オンデマンド Key word	教育講演① 胃X線検診安全基準 第2版 オンデマンド 演者：小田 丈二 司会：小川 敬子
9:20		
9:30		
9:40	講師：岡庭 信司、司会：岩下 和広	
9:50	共催：キャンパティ(株)	
10:00		
10:10		
10:20		
10:30		10:30～11:15(45分) Youtube オンデマンド
10:40	10:40～12:10(90分) 医師研修会	一般演題
10:50	胃X線症例検討会 オンデマンド	司会：北沢 尚子、山口 和也
11:00	基調講演：小田 丈二	
11:10	司会：見本 真一	
11:20	共催：カイゲンファーマ(株)	11:30～12:10(40分) スポンサードセミナー① 演者：大澤 博之、司会：入口 陽介 共催：富士フィルムメディカル(株)
11:30		
11:40		
11:50		
12:00		
12:10		
12:15	12:15～12:55(40分) ランチセミナー①	
12:20	演者：竹田 勇、司会：赤松 泰次	
12:30	共催：オリパ(株)	
12:40		
12:50		
13:00	13:00～13:30(30分) 支部総会	
13:10		
13:20		
13:30		13:30～13:45(15分) 会長講演 Youtube オンデマンド
13:40		
13:45	13:45～15:15(90分) 医師研修会	13:50～14:30(40分) スポンサードセミナー② 演者：永田 浩一、司会：見本 真一 共催：伏見製薬株式会社
13:50	シンポジウム オンデマンド	
14:00		
14:10	地域別にみた対策型胃内視鏡検診の現状と問題点	
14:20		
14:30	司会：赤松 泰次	14:35～15:35(60分) Youtube オンデマンド
14:40		
14:50		
15:00		ザ・ベスト・イメージングコンテスト① 司会：中村 悠、山本 美穂
15:10		
15:20		
15:30	15:30～17:00(90分) 医師研修会	15:40～16:25(45分) 医師研修会
15:40	パネルディスカッション オンデマンド	教育講演② 超音波判定マニュアル2021 オンデマンド
15:50	Key word	
16:00		
16:10	公開討論 大腸がん検診が真の効果を発揮するには	演者：小川 真広、司会：岡庭 信司
16:20		
16:30	司会：鈴木 康元	16:30～17:00(30分) ザ・ベスト・イメージングコンテスト② 司会：中村 悠、山本 美穂
16:40		
16:50		
17:00	閉会式	

第1会場の午前中は、超音波ライブセミナー（演者・岡庭先生；キヤノンメディカルシステムズ株式会社共催）と胃X線症例検討会（司会・小田先生、見本技師：カイゲンファーマ株式会社共催）が実施され、実地で役立つ超音波検査技術や胃X線読影法が分かり易く示されました。続いて午後からは胃シンポジウム（司会・赤松先生）と大腸パネルディスカッション（司会・鈴木先生）が行われ、それぞれの検診領域における問題点と対策案について活発な議論が交わされました。第2会場では午前中、胃X線安全基準の教育講演（講師・小田先生）、一般演題（司会・北沢先生、山口先生）、会長講演（演者・中島）が配信され、午後からは超音波判定マニュアルの教育講演（講師・小川先生）と超音波ザ・ベスト・イメージング・コンテスト（司会・中村技師、山本技師）が行われました。ここでも興味深い内容が発表されました。

これらの学会プログラムに加えて第81回地方会では3社より共催セミナーが提供され、オリンパスマーケティング株式会社（講師・竹田努先生）、富士フイルムメディカル株式会社（講師・大澤博之先生）、伏見製薬株式会社（講師・永田浩一先生）から消化器内視鏡検査や大腸CT検査に関する最新情報が提供されました。また本地方会は学会終了後、9月15日から30日までの期間に参加登録の皆様へ向けたオンデマンド配信もしました。

第81回地方会は、新型コロナウイルス感染症拡大によってWEB開催となりましたが、プログラム委員の先生方、実行委員（会）と株式会社勁草書房の皆様よりご尽力を賜り盛会裡に終えることができました。ここに心より感謝を申し上げ、学会報告といたします。ありがとうございました。

第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会
大会長 中島 寛隆（早期胃癌検診協会）

第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

大会長 中島寛隆（早期胃癌検診協会）

開催日時 2022年9月4日(日) WEB開催 オンデマンド配信（9月15日－30日）

実行委員(会) (敬称略) 工藤 泰 (委員長 早期胃癌検診協会)、

小田 宏 (早期胃癌検診協会)、小林千尋 (早期胃癌検診協会)、

西山 肇 (早期胃癌検診協会)、重松 綾 (こころとからだの元氣プラザ)

プログラム委員 (五十音順 敬称略)

赤松泰次 (長野県立信州医療センター)、

入口陽介 (東京都立がん検診センター)、

岡庭信司 (飯田市立病院)、小川敬子 (実践女子大学)、

小田丈二 (東京都立がん検診センター)、北沢尚子 (早期胃癌検診協会)、

鈴木康元 (松島クリニック)、

見本真一 (神奈川県予防医学協会)、山口和也 (ちば県民保健予防財団)、

山本美穂 (早期胃癌検診協会)

配信会場 御茶ノ水トリエッジカンファレンス

運営事務局 株式会社勁草書房 コミュニケーション事業部

第13回 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト結果報告

第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会において「第13回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」を開催いたしました。2008年より地方会において毎年開催されてきましたコンテストですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中断しましたので3年ぶりの開催となりました。以前のように会場に集まっての投票は難しいため、Web投票の形式をとりました。また、多くの方に参加していただきたく、地方会開催日の1週間前から応募画像を地方会ホームページ上に公開し、事前に投票していただいた分と、当日の投票分を合わせてベスト画像を決定しました。新たな試みで開催しましたが、皆様のご協力のもと盛会裏に終了することができました。

今回は未だに終息が見えない感染症対応に忙しく応募も難しいのではと思われましたが、日常の超音波検査で遭遇した症例の中から、自慢のベストショット17症例の応募をいただきました。参加者による得票の結果、得票数の多かった症例から最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞は同数だったため2点が決定しましたのでご報告いたします。

2年間コンテストは中断していましたが、この間超音波装置の進歩は素晴らしく応募された症例は素晴らしいもので、投票された方々も選ぶのに苦労したようで、各症例の得票数差はわずかなものでした。また、本コンテストは超音波検査のレベルアップも目指しておりますが、病変を的確にとらえ、装置の調整を正しく行い記録した写真には技術の向上も感じられ、病態を正しく的確に伝えたいという検査担当者の思いが伝わりました。

今回は、応募数が少なく貴重なものも多数みられましたので、広く会員の皆様にも供覧していただきたいと考え、ニュースレター紙面上で全症例を紹介させていただくこととしました。

応募して頂きました皆様および投票に参加して頂きました皆様ありがとうございました。御礼申し上げます。次回も多数のご応募よろしくお願い致します。

井上胃腸内科クリニック 中村 稔
早期胃癌健診協会 山本 美穂

【最優秀賞】



術者：岩田 好隆

所属：東京女子医科大学付属足立医療センター

装置：Canon Aplio 400

周波数：8.0MHz

患者：10歳代 男性

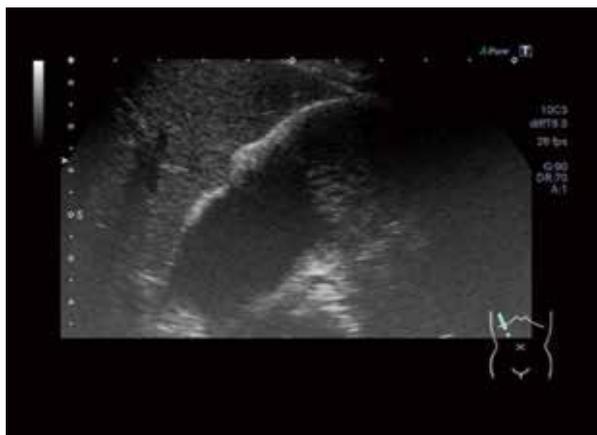
診断名：急性胃粘膜性病変および胃潰瘍疑い

コメント（術者の一言）

胃体部から幽門部にかけて全周性の著明壁肥厚（第3層中心）と前壁には高輝度エコーを認め、急性胃粘膜性病変と潰瘍形成を疑いました。

（エコー後施行の胃内視鏡と病理でも同様の結果で、壁肥厚と潰瘍の存在部位がほぼ正解できたことがうれしかったです。）

【優秀賞】



術者：横田 はるな
 所属：飯田市立病院
 装置：Canon Aplio 500
 周波数：6.0MHz
 患者：70歳代 男性
 診断名：HCC 再発
 コメント（術者の一言）

胆嚢壁が圧排されており、その部分を高周波プローブで観察すると、薄い辺縁低エコー帯を伴う腫瘍を見つけることができました！

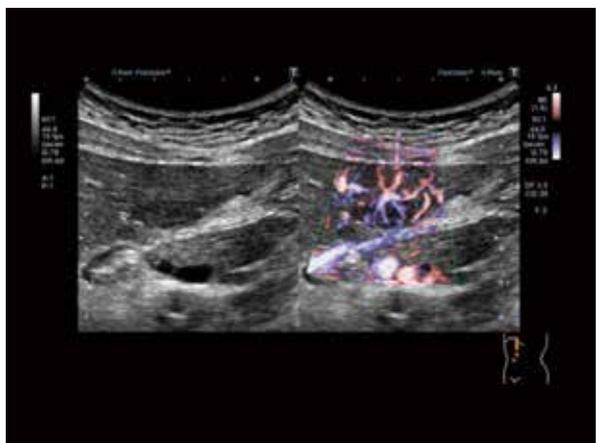
【特別賞】



術者：黒木 亜実
 所属：日本大学医学部附属板橋病院
 装置：FUJIFILM ARIETTA850
 周波数：8.0MHz
 患者：70歳代 男性
 診断名：膵癌
 コメント（術者の一言）

膵体部の低エコー腫瘍。不整形で境界不明瞭、主膵管の途絶、尾側膵管の不整な拡張、といった浸潤性膵管癌の典型所見が一枚で分かるように撮影しました。

【特別賞】



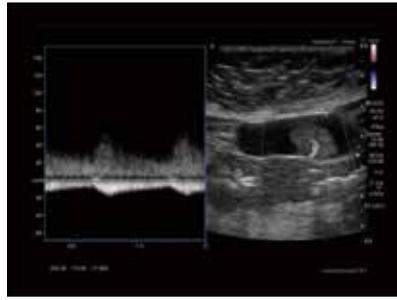
術者：東條 裕美子
 所属：大久保健診センター
 装置：Canon Aplio i600
 周波数：4.0MHz
 患者：30歳代 女性
 診断名：限局性結節性過形成
 コメント（術者の一言）

Advanced Dynamic Flow (ADF) にて、車幅状の血流信号を描出できました。

【応募全症例】



膵漿液性腫瘍



胆嚢過形成性ポリープ



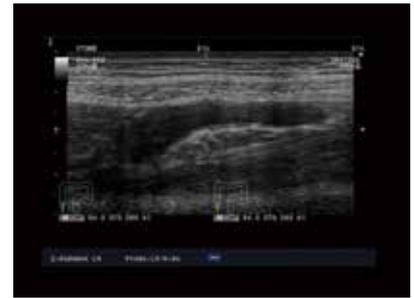
転移性肝腫瘍 (大腸癌)



IPMN



転移性肝腫瘍 (膵癌)



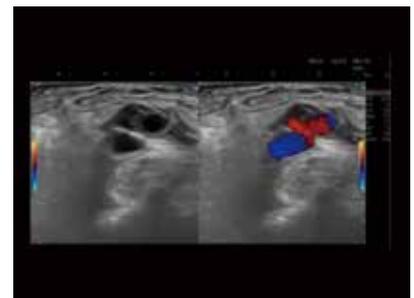
虫垂粘液嚢腫



胆嚢腺筋腫症



右腎細胞癌



Angio時の穿刺部(左上腕動脈)の仮性動脈瘤



左副腎腫瘍



転移性肝腫瘍



肝膿瘍



肝転移

第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：岡庭 信司

(飯田市立病院)

会 期：2023年9月23日(土・祝)、24日(日)

会 場：J A長野県ビル・アクティーホール

〒380-0826

長野県長野市大字南長野北石堂町1173番地3

TEL 026-236-3600 FAX 026-236-3525

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意・医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤

コロンフォート 内用懸濁液25%

■ 上部消化管X線造影剤

パリエスター A240散

硫酸バリウム散99.5%「FSK」

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤

パリエース 発泡顆粒

■ 胃内有粘性粘液除去剤

ジメチコン内用液2%「FSK」

(ジメチコン内用液)

■ 消化管X線造影剤

パリエガン HD

パリエガン デラックス

■ 注腸用X線造影剤

エネマスター 注腸散

■ 緩下剤

ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「FSK」

(ピコスルファートナトリウム錠)

取扱い商品

■ 大腸・CT用検査食 **FG-two**☆

味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水 **PROJECT F.**

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG** Jelly

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

■ CT検査補助具 **コロンマット**

マットの上でコロンと回転し、体位変換が可能。
撮影時の体位維持や、体位変換の負担を軽減。

遠隔画像診断支援サービス

 **G.I. Lab株式会社**

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

 **伏見製薬株式会社**
<http://www.fushimi.co.jp>

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801
名古屋営業所 / TEL 052-732-8555 大阪営業所 / TEL 06-6160-2431
中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

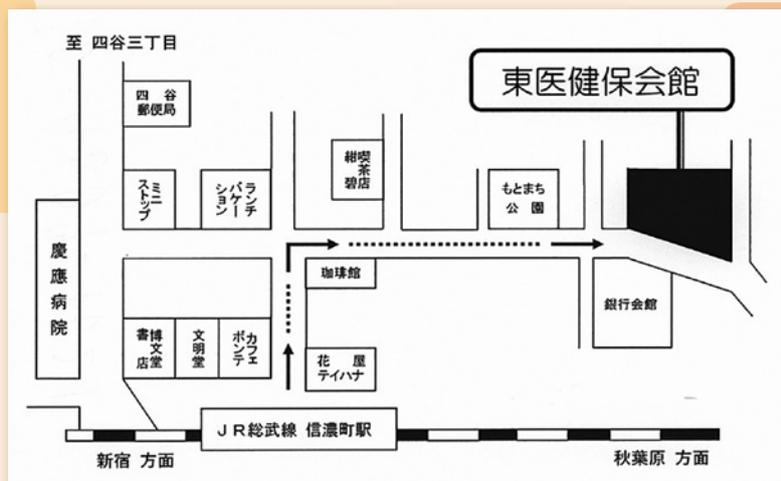
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

第23回超音波セミナー

会 期：R5年4月15日(土)

会 場：東医健保会館 大ホール

東京都新宿区南元町4番地



新型コロナウイルス感染等の感染拡大状況によって、開催方法を変更する場合がございます。プログラムについても現在検討中です。随時、下記の日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会ホームページでお知らせいたします。

問合せ先：関東中央病院画像診断科

E-mail：kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com

ホームページURL：http://www.mskanus.org/



KAIGEN

薬価基準収載

処方箋医薬品 X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

≪パウダー製剤≫

硫酸バリウム散 99.1%「共成」	バリブライトCL
バリトトップHD	バリブライトP
バリトトップP	バリコンクMX
バリブライトLV	ネオバルギンEHD

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、電子添文をご参照ください。

※注意 一 医師等の処方箋により使用すること

【資料請求先】 **カイゲンファーマ株式会社**

大阪市中央区道修町二丁目5番14号

<https://kaigen-pharma.co.jp>

超音波スクリーニング研修講演会 2022 東京

～精査が必要となるUS所見～

- 会場参加、Web参加のどちらか一方をお申し込みください

会場参加

令和4年
12月17日(土)
10:00～16:15 開場 9:30
浜離宮朝日ホール(小ホール)
東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞社新館 2F
定員: 300名(先着順)
ライブ配信は行いません

Web参加

(オンデマンド配信)
令和4年 令和5年
12月28日～1月31日まで
配信動画
講演: 5演題
ライブセミナー: 1演題
共催ライブデモ: 2演題

参加費

4,000円 (会場参加の方はオンデマンドの視聴もできます)
クレジットカード決済・銀行振込 をお願いいたします。

申込期間

令和4年10月1日から 令和5年1月13日

申込方法

参加登録サイト

URL: <https://form.m-event.jp/form/17/us-screening2022>
または、超音波スクリーニングネットワーク ホームページ
からお申し込みください

※ 会場参加・Web参加とも、超音波検査士更新 5 単位が付与されます。

主催

特定非営利活動法人 **超音波スクリーニングネットワーク**

事務局 〒158-8531 東京都世田谷区上用賀 6-25-1

公立学校共済組合 関東中央病院 超音波室

問合せ先(担当 大波) E-mail: tadashionami@ybb.ne.jp

2022 東京 プログラム …精査が必要となる US 所見…

* 開場・受付開始：9：30

10：00	開会の辞 関口隆三（特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク理事長）
10：05～10：50	講演1『精査が必要となる US 所見…胆道…』 講師：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科）
PC 接続 5分	
10：55～11：40	講演2『精査が必要となる US 所見…甲状腺…』 講師：中野 賢英（昭和大学横浜市北部病院甲状腺センター）
昼食休憩 70分	
12：50～13：35	ライブセミナー『体位変換で描出不良部位を克服しよう！』 講師：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科）
PC 接続 5分	
13：40～14：25	講演3『精査が必要となる US 所見…腎臓…』 講師：平井 都始子（奈良県立医科大学病院 総合画像センター）
休憩 15分	
14：40～15：25	講演4『精査が必要となる US 所見…肝臓…』 講師：小川 眞広（日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科）
PC 接続 5分	
15：30～16：15	講演5『精査が必要となる US 所見…膵臓…』 講師：森 秀明（杏林大学医学部医学教育学教室）
16：15	閉会の辞

共催ライブデモセミナー（オンデマンド配信のみ）

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

演題名：『LOGIQ E10x で膵胆道を見る、観る、診る』

演 者：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科）

共催：キャノンメディカルシステムズ株式会社

演題名：『Prism を用いて精査してみよう！』

演 者：小川 眞広（日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科）

主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

共 催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

後 援：全国労働衛生団体連合会／日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

東京超音波研究会

参加登録サイト

URL： <https://form.m-event.jp/form/17/us-screening2022>

NPO 法人 超音波スクリーニングネットワーク ホームページ

URL： <http://us-screening.kenkyuukai.jp/information/>

参加登録は、ホームページからもお申し込みいただけます。



編集後記

今号はまず、関東甲信越支部支部長小田丈二先生に今後の研修委員会の展望についてのべていただきました。縦割りではなく、コラボ、多職種連携、チーム医療といった観点で学会が発展することを期待するとのことでした。

次に第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の報告を、会長の中島寛隆先生に述べていただきました。第80回関東甲信越支部地方会に続いて、完全WEB開催となりました。今回ライブ配信が充実していました。教育講演に加えて、従来の地方会らしいシンポジウム、パネルディスカッション、ライブデモ、ザ・ベスト・イメージング・コンテストが予定通り開催されました。インターネットを通して多職種の白熱した討論もあり、地方会ならではの企画でした。遠方の先生にもご参加いただき、地域の特性について貴重な情報をご紹介いただきました。胃内視鏡検診の精度管理が、胃内視鏡診療の精度向上につながることを期待しています。

第81回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の日程と会場が決まりました。従来通りの現地開催予定とうかがっています。

超音波研修委員会の、令和5年度第23回セミナーの日程が決まりました。従来通りの現地開催予定とのことです。

超音波スクリーニング研修講演会2022東京のご案内が届いています。会場参加とインターネットオンデマンド視聴が可能なハイブリッド開催です。

新型コロナウイルスとうまくつきあっていこうという社会の雰囲気を感じます。市民の受診控えは解消されたと思います。消化器がん検診御関係の皆様、引き続き安全安心な検診をこころがけてください。

公益財団法人ちば県民保健予防財団
総合健診センター
山口 和也

■編集委員会■

編集委員長	山口 和也	
編集委員	依光 展和	岡田 義和
	神宮寺広明	山本 美穂
	石井 崇雄	渡邊 綾子



(非売品)